

## 平成26年度の主な事業報告

社会福祉法人 幸府福社会

## 社会福祉事業

平成26年度は、社会福祉法人が自立経営を行うための、「施設管理」から「法人経営」の重視への取り組みについて、ようやく昨年、法人本部棟の整備ができて、今後の「法人経営」の基盤づくりの区切りの年となりました。

また、法人本部機能の強化による経営・執行機能の充実と事業経営、利用者サービス管理、職員人事労務、財務・会計管理等についての取り組みも、一定の推移を見ることができました。

事業面については、昨年4月から、「特定相談と障害児相談」の指定を受けて、「やまもも・すみれ園相談支援センター」の業務を本格化することができました。那珂川町療育事業の受託事業について、効率的運営や療育機能の充実を図る提案を行い、受託事業者として選定を受けることができました。

人材採用については、積極的な採用活動によって、予定人数13名の新卒者採用を行うことができました。今後、人材定着と各種職員研修などを行い、より質の高いサービス提供への体制を固めることができました。施設長と管理者の人事異動の実施については、事業運営の活性化と利用者サービスの充実に貢献がみられます。

事業運営の課題について、法人全体で取り組むべき課題については、各種委員会活動でその解決に努めました。多くの職員の参画を得て活発に活動が行われ、その取り組みが定着してきています。

会計については、新会計基準への移行準備を行いました。財務については、健全な財務状況を確保することができました。

この平成26年度は、社会福祉法人のあり方についての意見が活発に取りざたされました。社会貢献活動や情報開示、法人のガバナンスの必要性など社会福祉法人の役割と課題が提示されました。

こういう状況にあって、当法人の今後の経営の安定と事業継続を確保して、法人の責務を果たす指針となる「中期経営計画」を策定することができました。策定には全職員の協力を得て立案し、この3月の理事会・評議員会において承認を得ました。平成27年4月から平成30年3月までの3か年、その目標達成に努力していきます。

## 公益事業

今年度は、見積もり作成と依頼が多数あり、新年度から「春日市男女共同参画・消費生活センターじょなさん」の清掃業務や幸府園のトイレ洗浄の受託を受けることになりました。徐々にではありますが、確実に事業拡充してきています。

さらに、法人ホームページにさぼーと春日紹介ページを作成、公開することができました。